

TJUP 共同 FSD 「カリキュラムコーディネーター養成研修会（初級）」

開催趣旨

カリキュラムコーディネーターという職種について聞かれたことがあるでしょうか。これは、カリキュラム編成のための専門的知識等を有し、カリキュラム編成に主体的に参画している教職員のことを指し、昨年度から私立大学等改革総合支援事業で、その配置が求められるようになりました。

カリキュラムは、大学・短期大学が社会に対して果たすべき大きな使命の一つである教育のためのコアとなる枠組みですので、その適切な編成のためには、その質を保証できるようなカリキュラムとして編成されている必要があります。

本研修では、教育の質を保証するとは何を保証するのか、どのような枠組みで保証するのか、またこのような質保証の機能をカリキュラムの中に埋め込むためには、どのようなことを考慮すべきなのか、またそのような質保証された教育のためのカリキュラムの理想の形が分かったとして、現在のカリキュラムの体系からそれにどのように移行してゆくのか、それをだれがどのような組織枠組みで実施してゆくのか、その中でカリキュラムコーディネーターはどのような役割を果たすべきか、などについての基礎的知識をお話しした後、グループワークで仮想の大学の例について考えていただくことを計画しております。

このような趣旨の本研修を受講することで、大学の使命、中長期計画に示されている目標の中の教育に関する項目の達成を目指した活動、すなわち質が保障された教育活動に関し、その枠組みの構築と運用、改善を適切に行うことができるカリキュラムコーディネーターとしての、基礎的な知識と実行力の育成を狙っております。

このような本研修の趣旨をご理解の上、カリキュラム編成・運用・改善、教育の自己点検・評価や内部質保証に携わる教職員、およびそのような部署の責任者の方々にはぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

また本研修は、「埼玉東上地域大学連携教育プラットフォーム（TJUP）」共同 FSD 活動の一環としての企画となっております。TJUP 会員校におかれましては、関係職員・教員のご参加をお待ち申し上げます。

記

開催日時： 2019年9月14日（土） 10:00-17:00

会場： 東京電機大学 埼玉鳩山キャンパス（教室等の詳細については、後日連絡）
https://www.dendai.ac.jp/access/saitama_hatoyama.html

実施主体： 主催 埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）
協賛 公益社団法人 日本工学教育協会

参加費： 無料

対象校： TJUP 会員校等

対象者： 大学・短期大学職員（教員も可）

修了証： 終了後に、各参加者に修了証を交付

参加申し込み方法

- ： 会員校は、TJUP の Slack 「共同 FSD」 のチャンネルの本研修会のスレッドに必要事項を記載して送信
- ： 会員校以外は、TJUP 事務局メールアドレス (tjup_tdu@taibokudo.jp) に、大学名、所属、氏名、メールアドレスを記載し送信

*** 申し込み期日 8月31日（土）**

プログラム（予定）

（主催者挨拶）

10:00-10:10 柏崎尚也（TJUP 代表校東京電機大学 副学長）

（講演）

10:10-10:20 工藤一彦（日本工学教育協会 理事、日本技術者教育認定機構 フェロー、
大学監査協会 教学監査委員会委員長）

(1) カリキュラムコーディネーターが求められる背景と、その位置付け、役割

- 「大学のガバナンス改革の推進について（中教審審議まとめ）H26.2」において求められた、学長がリーダーシップを発揮していくために必要な高度専門職（専門的人材）としてのカリキュラムコーディネーター
- 私立大学等改革総合支援事業で配置が求められているカリキュラムコーディネーター
- 本研修で念頭に置いているカリキュラムコーディネーターのイメージ

10:20-11:50 中山良一（日本工学教育協会 理事）

(2) 大学におけるカリキュラム編成の方法論とその構成要素

- PDCA サイクルを用いた教育の質保証の原理とそれに必要な要素
建学の精神、大学の使命、育成人材像、4つのポリシー（DP, CP, AP, アセスメント・ポリシー）、カリキュラムマップ、シラバス）
- 教育の質保証に関係した用語の解説

（高等教育に関する質保証関係用語集：大学改革支援・学位授与機構）

http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/publish/no17_glossary_4th_edition.pdf

13:20-14:20 工藤一彦

(3) 教育の質保証体制、カリキュラムマネジメント体制の仕組み

- 学修成果の達成を目指す(2)のPDCA サイクルを用いた教育の質保証体制の具体的な枠組みと、それを構築運用するためのカリキュラムマネジメント体制
- その妥当性を検証し改善する、自己点検・評価を含む内部質保証の枠組み
- その妥当性を外部から検証する第三者認証評価への対応の枠組み

(4) 教員によるカリキュラムの運用体制とそのチェック

- 教育/成績評価/科目の目標の達成度評価/のシラバス通りの実施体制とそのチェック

(5) 改善につなげるカリキュラムの評価

- 学生の学修成果達成度評価結果、授業アンケート、学修行動調査などを基に、カリキュラム評価を実施し、改善につなげる

14:20-15:00 未定

(6) 教育改善に向けての学内合意の進め方と教職員の協働の実例

- 教育改善を実施する組織的枠組みと手順の実例
- 課題解決のための教職員の協働のしかたの実例

（グループワーク）

15:30-16:45 中山、工藤

(1) カリキュラムの課題の認識

- グループに分かれて、配布された仮想大学の資料を参照し、その教育の質保証体系の問題点を上記(2)(3)に照らして抽出し、結果をグループごとに発表する。

この際、自校の下記の資料があると、自校の課題も同時に認識できるので、できれば用意しておいてほしい。

- ✓ 4つのポリシー、カリキュラムマップあるいはカリキュラムの構造を示す図、シラバスの例
- ✓ 自己点検・評価、全学内部質保証体制の図

（まとめ）

16:45-17:00 中山、工藤